

「認知スタイルを知る研修」

2016年9月17日

9月17日（土曜）、MBTI認定ユーザーの指導の下で”、”自分自身の認知スタイルを知る”ための病院ではじめての試みを終えました

診療局、看護局、技術局、事務局の皆さん たいへんおつかされさまでした！



以下は参加された皆さんからのフィードバックです

『認知スタイル体系（MBTI）』への関心をお聴かせください

- とても興味があるのでもっと学びたい 10
- 興味を持ってない 0

とても興味があるのでもっと学びたい、と応えた方にお聴きします そのように感じられた理由を教えてください（複数選択可）

- 体系自体が興味を惹く 2
- 自分の心の働きの特徴を知るのに役立つと感じる 5
- 自分と他者の心の働きの違いを理解するのに役立つと感じる 9
- その他 1

「認知スタイルを知る研修」

2016年9月17日

研修を通じて、貴方の『ベストフィットタイプ』が見つかったと感じますか？

- 見つけたと感じる 9
- どのタイプが「ベストフィット」か、まだ迷っている 1

「ベストフィットタイプ」が見つかった人にお聞きします

「ベストフィットタイプ」にじっくり感を感じておいでですか？

- 大いに感じている 7
- いくぶん違和感があるが、じっくりと感じる部分が多い 2

「ベストフィットタイプ」が見つかった人にお聞きします

「ベストフィットタイプ」を見つけて良かったと感じますか？

- 良かったと感じている 9
- 良かったとは感じていない 0

「ベストフィットタイプ」を見つけて「良かった」と感じた人にお聞きします

「良かった」と感じる理由を御教え下さい

- 自分自身の見えているものが全てではないということなど、自分自身の認知スタイルを確認することができました
- これまで漠然と感じていたものを、明瞭に理解できたと感じている
- 自分自身の弱点を知り、素直に他者との違いを見ることのより、他者をリスペクトできると同時に自分の弱点を補ってもらうヒントとなったから
- 知覚機能のタイプ分類で、感覚と直観でこんなにちがいがあものなのかと驚いたとともに、自分が直観型であることが判り、その特徴がベストフィットであったこと
- 今まで自分の傾向と感じていたことが、自己のタイプであることが明確となった
- 自分の短所を一生変えることができないネガティブなものとしてではなく、これから発達させていくべき機能というポジティブにとらえることができるようになったため
- いろいろなタイプを知ることが出来た。 その特徴も少しは理解できた
- 自分のタイプがわかったことで、他者への理解につながると感じたから

「認知スタイルを知る研修」

2016年9月17日

認知スタイルは、「感覚」と「直感」それに「思考」と「感情」の使い方に偏りがあることから生まれます。「ベストフィットタイプ」に納得できれば、貴方が最も頼りにしている機能（主機能といいます）がどれで、逆にほとんど使わずにいる機能（劣等機能といいます）がどれなのかが分かります。

あまり使わない機能を意識して使うことに人生の後半を充てることで、人の心の水準は高まる、とユングは言いますが、追加研修で これらのことを続けて学びたいと感じますか？

- 学びたい 9
- 学びたいとは思わない 1

この研修を職場の同僚や親しい人にも紹介したいと想いますか？

- 紹介したいと思う 9
- 紹介したいとは思わない 1